

平成 17 年 2 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 フォトニクス
代表者名 代表取締役社長 柄澤 憲彦
コード番号 7708
上場取引所 大証ヘラクレス
問合せ先 取締役 業務管理部長 吉安 篤志
(TEL 03-5741-1818)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 8 月 25 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 16 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）
（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,185	29	27
今回修正予想 (B)	989	41	18
変動額 (B - A)	196	70	45
変動率 (%)	16.5	241.4	166.7
前期 (平成 15 年 12 月中間期) 実績	1,342	293	148

2. 16 年 12 月期中間業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）
（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	44	50	11
今回修正予想 (B)	46	48	27
変動額 (B - A)	2	2	38
変動率 (%)	4.5	4.0	345.5
前期 (平成 15 年 12 月中間期) 実績	110	71	91

3. 修正の理由

業績予想の修正の主な要因につきましては、今期投入の新製品「回線束ね装置」が当初の見込みの受注は確保できたものの、ユーザーとの最終的な仕様調整の長期化により、製品の検収が遅れたこと、不採算事業であったウェハーバンプ測定装置の撤退並びに光学系検査装置、測定装置の自社製造が供給に追いつかなかったことによる納期の遅れが原因であります。ただし、これら

の要因につきましては、現段階においてはすべて解決済みであり、通期については当初の計画通り、売上高・収益ともに達成可能であります。さらに、明るい話題としましては、液晶検査装置事業において、国内メーカーのアジア展開に伴い、現地工場のライン増設等で受注額が増加しており、通期で業績に寄与するものと考えております。加えて、単体については、当グループにおいて本業上のメリットを得られるようなパートナーに対して、子会社株式の売却交渉を進めており、下期において収益に貢献するものと考えております。また、(株)ナノテックスと(株)WAVEの情報機器事業との吸収合併、並びに(株)フォトンクスソリューションと(株)WAVEの液晶検査装置事業との合併により、アナログ・デジタル回路の要素技術を融合させ、高付加価値製品の開発を実現させていき、2社とも更なる高収益を図れる体制を構築してまいります。これらを踏まえ、今後当企業グループにおきましては、早期のグループ会社の株式上場を具現化させ、当社としましては連結の累積損失及びキャッシュフローの改善に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き当社並びに当グループの経営戦略のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

(参考)

通期業績予想につきましては、下記前回発表数値の修正はございません。

・17年6月期通期連結業績予想数値(平成16年7月1日～平成17年6月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	2,413	114	14

・17年6月期通期業績予想数値(平成16年7月1日～平成17年6月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	89	97	38

以上